

《令和6年度 上下水道部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長 奥山 敏樹

主

令和6年度当初予算概要に掲載の事業に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
1	<水道事業> ・昭和39年に一部給水開始した上水道施設(取水・導水・送水・配水等)の老朽化が進み、大量更新時期を迎えています。 ・近年の地震・風水害等による上水道施設被害の激甚化を踏まえ、災害に強い浄水場等のライフラインの確保が求められています。 ・第2次草津市水道ビジョンにおいて「災害に強い水道を築きます。」を目標に掲げ、災害対策等を施策として位置づけています。

2. 重点目標	
①	第2次草津市水道ビジョンに基づき基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管路の更新による耐震化を優先的に進めます。
②	ロクハ浄水場関連施設の浸水対策、北山田浄水場の耐震補強および浸水対策を進めます。 また、老朽化した機械・電気設備について、計画的に更新を行います。

3. 目標達成のための取組と成果目標	
①	【取組】 第2次草津市水道ビジョンに基づき、更新工事を行います。 (令和6年度事業費) 476,960千円 【成果目標】 配水管の更新 令和6年度事業費分 更新延長 1.6km
②	【取組】 (1)北山田浄水場配水池耐震補強工事を行います。 (令和6年度事業費) 569,726千円 (うち令和5年度予算明許繰越費) 166,244千円 (2)2段取水ポンプ場浸水対策工事を行います。 (令和6年度事業費) 99,093千円 (3)老朽化した設備の更新等を行います。 (令和6年度事業費) 68,259千円 【成果目標】 (1)耐震化 ・北山田浄水場配水池耐震補強工事 (2)浸水対策 ・2段取水ポンプ場浸水対策工事 (3)機器の更新等 ・北山田浄水場緩速ろ過池電動弁 4台 ・北山田浄水場脱水機整備 1式 ・北山田浄水場赤外線センサー改修 1式 ・ロクハ浄水場旧館沈殿池自動弁 9台 ・ロクハ浄水場旧館2号送水ポンプ 1台

4. 課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組 【年度末実績】	
【取組実績】 第2次草津市水道ビジョンに基づき、更新工事を行いました。 (令和6年度事業費) 303,738千円	
①	【成果目標実績】 配水管の更新 令和6年度事業費分 更新延長 1.1km ※地元調整等に時間を要したことから、一部の工事を繰越ることになり、令和6年度の成果目標は未達成となりましたが、配水管の更新を図りました。
②	【取組実績】 (1)北山田浄水場配水池耐震補強工事を実施しました。 (2)2段取水ポンプ場浸水対策工事を実施中です。 (3)老朽化した設備の更新等を実施しました。 【成果目標実績】 (1)耐震化 ・北山田浄水場配水池耐震補強工事を完了しました。 (2)浸水対策 ・2段取水ポンプ場浸水対策工事を債務負担行為により進めています。 (3)以下の機器等の更新を実施しました。 ・北山田浄水場緩速ろ過池電動弁 4台 ・北山田浄水場脱水機整備 1式 ・北山田浄水場赤外線センサー改修 1式 ・ロクハ浄水場旧館沈殿池自動弁 9台 ・ロクハ浄水場旧館2号送水ポンプ 1台

2	<水道事業(経営)> ・昭和39年の一部供用開始から60年が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められています。 ・水需要の減少や物価高騰など水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。
---	---

③	<水道事業(経営)> 老朽化した水道管の更新を順次実施し、災害に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、第2次草津市水道ビジョンに基づき、水道料金の10%還元を令和9年度末まで実施します。 また、経営状況の確認を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指し、経営基盤の強化に努めます。
---	---

③	【取組】 事業や経営状況の把握を行い、第2次草津市水道ビジョンに基づく進捗管理を行います。 【成果目標】 経営計画における目標達成状況や経営状況の把握と分析を行い、上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。
---	--

③	【取組実績】 第2次草津市水道ビジョンに掲げる各数値や指標等の確認、実績との比較検証を行いながら、健全な事業運営に努めました。 【成果目標実績】 第2次草津市水道ビジョン(令和4年度～令和15年度)の2年目である令和5年度決算について、計画に掲げる目標達成状況や経営状況の確認と分析等を行い、上下水道事業運営委員会へ報告を行うとともに、市HPなどを通じ、決算状況の公表を行いました。
---	---

3	<下水道事業> ・昭和49年の事業着手から50年が経過し、今後は施設の老朽化が進み、維持管理・更新費用の増大が見込まれます。 今後、効率的な施設管理を行うためには、優先順位を付けて計画的に事業を進めるとともに、事業を平準化する必要があります。 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められており、下水道施設の耐震化について市民意識が高まっています。
---	--

④	草津市下水道事業第9期経営計画に基づき、計画的に施設を点検・調査し、更新を進めます。 また、災害対策拠点、避難所等からの排水を受ける重要な幹線等の耐震化を計画的に進めます。
---	---

④	【取組】 (1)施設の点検・調査、更新を行います。 (令和6年度事業費) 162,456千円 (うち令和5年度予算明許繰越費) 50,854千円 (2)耐震対策の工事等を行います。 (令和6年度事業費) 103,549千円 (うち令和5年度予算明許繰越費) 17,645千円 【成果目標】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・カメラ調査延長 7.0km ・マンホールポンプ(本体)更新 1基 ・マンホールポンプ(制御盤)更新 4面 ・下水道管管更生 299m ・下水道管蓋交換 4箇所 (2)耐震対策工事 ・マンホール継手対策 32箇所 ・下水道管管更生 45m
---	---

④	【取組実績】 (1)施設の点検・調査、更新を行いました。 (令和6年度事業費) 97,452千円 (うち令和5年度予算明許繰越費) 58,049千円 (2)耐震対策の工事等を行いました。 (令和6年度事業費) 51,986千円 (うち令和5年度予算明許繰越費) 14,894千円 【成果目標実績】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・カメラ調査延長 7.5km ・マンホールポンプ(本体)更新 1基 ・マンホールポンプ(制御盤)更新 2面 ・下水道管管更生 167m ・下水道管蓋交換 4箇所 (2)耐震対策工事 ・マンホール継手対策 6箇所 ・下水道管管更生 44m ※国費の内示に応じ事業を実施したため、令和6年度の一部の成果目標が未達成となりましたが、カメラ調査、施設の更新、耐震対策を図りました。
---	--

4	<下水道事業(経営)> ・昭和49年の事業着手から50年が経過し、普及率も高水準に達しています。今後は老朽化した施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要となっています。 ・下水道事業は利用者のみなさまからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準に基づく一般会計からの繰入金などにより経営を行っています。 ・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、物価高騰など下水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。
---	---

⑤	<下水道事業(経営)> ・老朽化が進む施設の点検調査を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と災害への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。 また、草津市下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の更新や災害対策を推進しながらも、経営の健全化を図り、安定した事業運営を行います。 ・総務省基準外の繰出金について、段階的な削減を行うことにより、独立採算の実現を目指します。
---	--

⑤	【取組】 事業や経営状況の把握を行い、草津市下水道事業第9期経営計画に基づく進捗管理を行います。 【成果目標】 経営計画における目標達成状況や経営状況の把握と分析を行い、上下水道事業運営委員会への報告および公表を行います。
---	---

⑤	【取組実績】 草津市下水道事業第9期経営計画に掲げる各数値や指標等の確認、実績との比較検証を行いながら、健全な事業運営に努めました。 【成果目標実績】 草津市下水道事業第9期経営計画(令和4年度～令和15年度)の2年目である令和5年度決算について、計画に掲げる目標達成状況や経営状況の確認と分析等を行い、上下水道事業運営委員会へ報告を行うとともに、市HPなどを通じ、決算状況の公表を行いました。
---	---